

日が長くなり、人々の表情も明るく見える日々となりました。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。2026年は京都府とケベック州の友好協定締結10周年、2028年は日加修好100周年に加え広島・モントリオール姉妹都市提携30周年にあたり、これらの節目も活用しつつ、当館としても、引き続き、日本とカナダ、日本とケベック州の関係強化に努めて参ります。

ところで、5月13日付ケベック投資庁の発表によると、ケベック州には約3,900の州外企業（親会社がケベック州外に設立されている企業）の子会社があり、これらは企業全体のわずか1%を占めるに過ぎませんが、これら企業が生み出す経済効果は遙かに大きいということでした（総雇用の11%、GDPの21%、研究開発費の37%、商品輸出の56%など）。ケベック州に於いては、日本企業も様々な形でケベック経済に貢献しています。

### ●マギル・HEC モントリオール・エグゼクティブ MBA プログラム

4月19日、高久首席領事は、マギル・HEC モントリオール・エグゼクティブ MBA プログラムにおいて講演しました。企業幹部、経営者等、ビジネスの第一線で活躍する受講生約50名を対象に、日本の社会、経済等の状況につき説明しました。同プログラムの受講生は、今後日本でフィールドスタディを予定しており、日本における有望なビジネス分野等について高い関心が示されました。



### ●モントリオール日系文化会館 春のマルシェ

4月25日、恒例の春のマルシェに行ってきました。講堂では、日本の着物、アクセサリ、雑貨、古本などについて出展がなされ、地階では、牛丼、カレー、おにぎりや和菓子などが提供されており、更に、上の階では、琴、三味線など日本の伝統楽器を使ったコンサートなど盛りだくさんでした。いずれも、日本の日常を思い出させる、懐かしい雰囲気でした。平井会長をはじめとするモントリオール日系文化会館とボランティアの方々のご尽力に敬意を表します。



### ●マギル大学

4月27日、マギル大学のSteinberg Centre for Simulation and Interactive Learningを視察させていただきました。外科医の方々が手術をする現場の舞台裏を見せていただくだけでも興味深かったです。

が、訓練・教育用の設備が非常に充実していました。このセンターには、外科教育に関する講義と研究を通じて、外科教育の専門的知識や教育者としての技能を習得し、我が国の外科教育の発展に貢献する人材の育成を目的として、日本外科教育学会を通じて日本の医師の方が定期的に研修されているとのことです。マギル大学との関係では、2018年より、ゲノム解析において世界トップクラスの京都大学とマギル大学がジョイント・ディグリープログラムを実施しているところ、このセンターも日本とケベックのつながりの広さを示しています。

#### ●La Semaine Japon

4月27日、高久首席領事は、モンリオール市内の日本関係のレストランやブティックが参加する「La Semaine Japon 2026」オープニングイベントにて挨拶しました。「La Semaine Japon」は今年で6回目となり、モンリオール市内で気軽に日本を体験することができるイベントとして毎年人気を博しています。オープニングでは、多くの日本好きの若者やインフルエンサーなどが参加し、大いに盛り上がり、日本文化への関心の高さを伺わせました。



#### ●モンリオール港視察

4月30日、総領事団向けケベック州国際関係省（MRIF）による企画にて、モンリオール港の視察に参加してきました。カナダ東部では最大のコンテナ港で、日本を含む140カ国の港とつながっていて、年間2000以上の船舶が寄港するとのことでした。10年前と比べるとアジアとの交易シェアが高まっており、現在は約2割を占めているとのことでした。30KMに広がる港湾インフラの一部も見せていただき、普段通るOld Port地区を別の観点から見ることができました。MRIFの皆様と港湾当局関係者の方々のご説明に感謝します。



### ●いけばなインターナショナル定期華道展

5月1日、モンリオール市立植物園日本館において、53回目となる「いけばなインターナショナル・モンリオール支部」の展示会オープニング・セレモニーが行われました。各流派の皆様が、季節の草木や花を花器にいけることで自然の風景や季節感を強調する素晴らしい作品を通じて、今回の展示会のテーマである「春の賛歌 (ôde au printemps)」を見事に表現しておられました。同支部の名誉会長である Cristina IORI からは、自らの生け花体験を通じて、花を通じた友情の素晴らしさに触れ、私よりは、総領事館として、日本の伝統文化である華道を広める同支部の活動に感謝するとともに、引き続きその活動を支援していきたい旨述べました。



### ●ASIASIE

総領事館からもほど近い TIME OUT という飲食施設にて、本年もこの行事が実施されました。日本のお茶、和菓子、着物、アクセサリなどの出展に加え、タイ、インドなどアジア諸国からの出展が合計30もありました。また、オープニングセレモニーに於いては、フィリピンの舞踊やベトナムの伝統楽器の演奏なども紹介されました。オープニングには、インドネシア大使館、カンボジア名誉総領事館、モンゴル名誉総領事館などからも出席があり、盛り上がりました。



●日・ケベック州経済関係

5月11日、ボルドュック・ケベック投資公社（IQ）インターナショナル総裁と深化する日本とケベック州の経済関係等について議論すると共に、また、5月13日には、ランビアス・ムニエ・ケベック州経営者評議会（CPQ）会長からCPQの活動概要について伺うと共に、ケベック州経済や日本との関係について意見交換を行いました。



●ピクニックお花見

5月17日、石川副領事は、毎年恒例のモンリオール市立植物園日本館でのお花見ピクニックイベントに参加しました。当日は好天に恵まれ、多くの参加者が、弁当を食しながら植物園・日本庭園の豊かな自然を楽しんでおられました。晴れ渡る青空の下での嵐太鼓の演奏は多くの人々を魅了していました。また、日本館では裏千家淡交会による茶道デモンストレーションが行われ、風情溢れる日本庭園を眺めながら、多くの方が抹茶を堪能していました。大変な盛況となったこの行事を実施された関係者やボランティアの方々に深く敬意を表します。



### ●ナザリアン・モントリオール市議会議員

5月21日、ヴァナ・ナザリアン・モントリオール市議会議員（都市魅力化及び経済発展担当）と面会し、日モントリオール関係の深化に向け幅広く意見交換をしました。



### ●カナダ巡回映画祭

5月22・23日、シネマテック・ケベコワーズ（映画館）にて今年で42年目となるカナダ巡回日本映画祭を当館と国際交流基金との共催で行いました。上映された3本の作品はいずれも好評を博しました。日本映画を通して日本の文化や歴史への理解がより深まる機会となったことを嬉しく思います。ご来場いただいた皆様、ありがとうございました。



### ●外交青書

日本の外務省が発行している外交青書は、国際情勢の推移及び日本の外交活動を取りまとめたものです。1957年9月の第1号以来、毎年発行されており、最新版は2026年版です。現在、日本語版は外務省HPに載っており、今後、英語全文版、仏語要旨版が発行される予定です。日本は、戦後一貫して平和国家としての道を歩み、アジア太平洋地域を始め国際社会の平和と安定、繁栄に貢献し、法の支配に基づく自由で開かれた国際秩序の維持・強化に取り組んできたところ、こうした日本外交の基本的スタンスも含めて、包括的に記されています。日本外交の歩みを知っていただくための参考になれば幸いです。

<https://www.mofa.go.jp/mofaj/gaiko/bluebook/>

\*上記の他にも、日本やカナダの様々な方や団体の関係者と意見交換などを行うことができ、大変有意義な期間でした。

\*本メッセージは仏・英語にても、メルマガ読者に配信しています。